

豊田市の幹線道路網整備 等に関する要望書



TOYOTA OHASHI BRIDGE
&
TOYOTA STADIUM



平成30年10月

豊田市幹線道路整備促進協議会

当市のある西三河地方は、世界をリードするものづくり産業の中核としての顔を持つ一方、超高齢社会の進展に伴う労働人口の減少、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫、公共施設の老朽化等に伴う維持管理費の増大等の課題を抱えています。これらの課題に対応するため、社会全体の生産性の向上につながる取組を行いつつ、市民の安全・安心の確保、生活の質を向上させる取組が急務となっています。

特に道路は、力強く持続的な経済成長を支えると同時に、災害時における避難路、物資等の輸送路となるなど、災害復旧の加速や復興に寄与する重要な社会基盤です。

今後も地方が真に必要とする道路整備を着実に推進させ、平常時・災害時を問わない円滑な人流・物流を確保する道路ネットワークを構築することが、経済の好循環の拡大や、安全・安心な暮らしの確保、地域の活性化につながるものと考えます。

また、当市は、ラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会の開催都市であり、現在、これを契機とした基盤整備、観光都市化に向けた取組を推進しています。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、地方が真に必要とする国道、県道、市道のいずれもが長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設を検討するとともに、平成 31 年度道路関係予算は要求額を満額確保すること。また、平成 30 年度補正予算についても、道路事業が推進されるよう、用途を限定しない補正予算を早期に編成すること。**
- 2 市民の安全・安心の確保や持続的な経済成長の実現、地域の活性化に向け、道路ストックを最大限に発揮する道路整備を計画的かつ着実に推進すること。**
- 3 ラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会開催に向け、安全で円滑な輸送・来訪を可能とするため、アクセス道路の整備や主要渋滞箇所の改善に資する事業中路線の大会開幕に合わせた確実な整備を図ること。**

豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】



力強く持続的な経済成長の実現

物流ネットワークの機能強化

- 国道153号豊田北バイパス
- 国道155号豊田南バイパス
- 国道301号松平バイパス
- (都)豊田刈谷線(一般県道宮上知立線バイパス)
- ・主要地方道名古屋岡崎線(豊田安城工区)
- ・主要地方道名古屋岡崎線(生駒町横山~生駒町東山)
- ・主要地方道豊田安城線(榑塚西町~稲受町)
- ・(都)高橋細谷線
- ・上郷スマートインターチェンジ

高規格幹線道路へのアクセスの強化

- 国道419号(四郷拡幅)
- ・国道301号野見山拡幅
- ・(都)豊田則定線(日之出町~寺部町)
- ・国道419号(陣中町)

豊かな暮らしの礎となる地域づくり

日常生活移動の円滑化

- ・国道419号 藤岡飯野交差点
- ・国道419号 追八反田交差点
- ・国道153号 平戸橋西交差点
- ・主要地方道豊田明智線平戸橋西交差点

市域の一体性・交流を支える道路の整備

- ・国道420号 足助バイパス
- ・国道473号(和合町)
- ・主要地方道足助下山線(籠林町)
- ・国道257号(中当町)
- ・国道301号 根引峠バイパス
- ・主要地方道足助下山線(大沼町)
- ・主要地方道豊田明智線(浅谷町~須賀町)
- ・主要地方道岡崎足助線(鍋田町)

市民の安全・安心の確保

緊急輸送道路の信頼性の向上

- 国道153号 伊勢神改良
- ・国道153号、国道155号の防災対策
- ・国道301号、国道419号、国道420号、主要地方道瀬戸設楽線、豊田明智線、岡崎足助線、土岐足助線の防災対策
- ・国道153号、国道155号の橋梁の耐震対策
- ・一般県道豊田環状線の橋梁の耐震対策
- ・市道西山越戸線 東梅坪橋ほか1橋 橋梁の耐震対策

凡例	
	重点要望事項 (国事業)
	重点要望事項 (愛知県事業)
	要望事項 ※○は最重点要望事項

平成30年10月22日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長

太田 稔彦

豊田市議会議長

鈴木 章

豊田商工会議所会頭

三宅 英臣